

【重点審議事項の論点整理について（文化スポーツ部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
滋賀の美の魅力発信について	○令和3年7月9日 常任委員会 ・一般所管事項について ●令和3年7月27日 県内行政調査 県立美術館（大津市） ・再開館後の状況について ○令和3年10月1日 常任委員会 ・（仮称）新・琵琶湖文化館の整備・運営にかかるPFI手法等可能性検討について	県立美術館の再開館について	・今後も、滋賀県の歴史、文化を発信するような、ストーリー性のある展示を続けて、ほかの美術館と違った趣になるようにされたい。 ・滋賀にゆかりのある若手作家の作品が多く、県民に近い、子供にも親しんでもらえるような、身近な美術館に生まれ変わったと感じた。メディアで積極的にPRしているが、今後も、様々な媒体でPRされたい。	
	○令和3年12月15日 常任委員会 ・議第159号 令和3年度滋賀県一般会計補正予算（第12号）のうち文化スポーツ部所管部分について ○令和4年3月9日 常任委員会 ・（仮称）新・琵琶湖文化館整備事業に係る業務分担と要求水準の考え方（案）について	（仮称）新・琵琶湖文化館の整備・運営について	・文化施設のPFI整備について、設計、建設、維持管理は民間が行うとしても、運営部分は、県立美術館と同じように、直営でしっかりと責任を持って実施されたい。 ・専門家のアドバイスを受けて、要求水準書の案を作成すると聞いているが、しっかりと議会の意見を反映させる機会を設けられたい。 ・運営方針は、館長とその下で働く学芸員を含めて議論していかないと、決まらないのではないかと。そのためにも、館長を早く決められたい。 ・要求水準を作成するにあたり、県直営部分とPFI事業者の業務分担は、相互連携して、集客につながるよう工夫されたい。	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
スポーツの更なる振興に向けた環境の整備について	<p>○令和3年5月20日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいマラソン大会の開催に向けた取組について <p>●令和3年7月27日 県内行政調査 滋賀アリーナ（大津市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の進捗状況について <p>○令和3年9月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいマラソン大会の開催準備状況について <p>○令和3年10月1日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第110号 令和3年度滋賀県一般会計補正予算（第7号）のうち文化スポーツ部所管部分について ・報第16号 第2期滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況について ・第3期滋賀県スポーツ推進計画の策定について 	新しいマラソン大会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> ・びわ湖毎日マラソンのレガシーが引き継がれるような大会にしていきたい。 ・新しいマラソン大会が、どうすればびわ湖毎日マラソンに匹敵するようなグレードが保たれるのかという中で、最後の大会の優勝者に意見をいただく機会をつくるなど、ストーリー性のあるコース選定をされたい。 ・最初にコンセプトを明確に打ち出した上で、そのコンセプトに合ったコース選定や、大会運営を議論すべきではないか。 ・地域の皆様から愛されて、みんなが応援して、みんなが出場するようなマラソン大会にしていきたいので、ほかのマラソン大会のいいところを、たくさん取り入れられたい。 	
	<p>○令和3年12月15日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドマスタースゲームズ2021 関西の再延期について ・一般所管事項について 	滋賀アリーナの整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナのラインなど、各競技団体の要望を踏まえ、調整しながら進められたい。 ・建設現場の仮囲いに、県民への意識づけにつながるようなPRがない。県民の皆さんにとって大切な施設を作っていることや、国スポ・障スポ大会の開催を、アピールすべきである。 	
	<p>○令和3年9月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいマラソン大会について 	ワールドマスタースゲームズ2021 関西の再延期について	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドマスタースゲームズ関西2021に期待感を持っている人がたくさんいることを認識して、多くの皆さんの御理解をいただき、応援していただけるような体制づくりに取り組まれたい。 ・競技団体や開催市も含めて、しっかりと意見の集約をしながら臨まれたい。いい形になるように期待している。 	

【重点審議事項の論点整理について（教育委員会所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>これからの県立高等学校の在り方の検討について</p>	<p>○令和3年5月20日 常任委員会 ・令和3年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>○令和3年6月9日 常任委員会 ・第25期滋賀県産業教育審議会第3回会議までの結果概要について ・「これからの県立高等学校の在り方検討」について</p> <p>○令和3年7月12日 常任委員会 ・「これからの県立高等学校の在り方検討」および「第25期滋賀県産業教育審議会」の検討状況について</p> <p>○令和3年10月4日 常任委員会 ・「これからの県立高等学校の在り方検討」について</p> <p>○令和3年11月10日 常任委員会 ・「(仮) これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針」(原案)について</p> <p>○令和4年3月8日 常任委員会 ・これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)について</p>	<p>(仮) これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針について</p>	<p>・これからの高等教育を考えていくときに、教育委員会がイニシアチブを取りながら、公立、私立を越えた検討をされたい。</p> <p>・部活動は目立つ部分であるが、生徒数の減少によって思うように部活動ができない高校もたくさんあり、学校間連携や地域連携だけでは、今後の県立高校の部活動の取組としては、物足りないのではないかと。</p> <p>・各学校にどういう魅力があって、どういう学校になるのかということを示していかなければならない。受検する中学生に混乱が起きないように、しっかりと示されたい。</p> <p>・通学区域全県一区制度の導入後、湖北、湖西、甲賀など人口減少地域の学校では、生徒の流出があり、魅力化や特色化では、生徒が集まらない可能性もあるのではないかと。</p> <p>・将来、社会に出て、どれだけ能力が発揮できるかということが大切であり、そのための学習だと思う。高校を選択するときに、早い段階から生徒がそのことを意識できるような指導があると、普通科の専門コースが、生きてくるのではないかと。</p> <p>・進学校は、大学との連携というところを打ち出していかなければ、私立学校との差別化が難しいのではないかと。就職は、企業との連携をもっと打ち出して、抽象的な話ではなく、しっかりと進路として進めるといった具体的なところを見せていかないと、中学生は魅力化の部分理解できないのではないかと。</p>	<p>令和4年3月 「これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針」策定</p>

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
「読み解く力」向上の 推進について	○令和3年9月8日 常任委員会 ・令和3年度全国学力・学習状況調査の結果概要 について ○令和4年1月31日 常任委員会 ・令和3年度第3回滋賀県総合教育会議の結果 について ○令和4年3月8日 常任委員会 ・第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プランの検証・改善につ いて	全国学力・学習状 況調査の結果を踏 まえた今後の取組 について	・学校の構造的な部分を検証するとともに、先生のモチ ベーション、子供の成長に対する喜び、そういった両面 を見ながら、今後、取り組まれない。 ・全ての市町教育委員会で、授業改善、家庭学習の重要 性など、課題は出尽くしているの、実践できる体制づ くりに取り組む必要がある。 ・全国学力・学習状況調査の過去の結果をどう次に生か すかという視点について、今回の結果からのスタート ではなく、前回までの取組を次にどうつなげていくか という視点が重要である。 ・教育の最も大きな目的である人格の形成につながる ような学力の向上を見失わず、テスト対策だけでなく、 心豊かな子供を育てる、そういう滋賀の教育をつくる という立場でこの問題を分析して、取り組まれない。	
	I C Tを活用した 教育の推進につい て	・I C Tを教育において活用して、推進していくことは 大事なことであり、やるべきだと思うが、実際はいろい ろなデメリットもあり、それをきちんと認識した上で、 克服して活用していくという視点が、非常に大事では ないか。 ・小中学校でのI C T活用状況について、配られた端末 をあまり活用されていないような話も聞いている。全 体的な底上げと、教職員も含めたレベルアップが、喫緊 の課題ではないか。		

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
特別支援教育の推進について	<p>○令和3年10月4日 常任委員会 ・副次的な学籍制度の概要について</p> <p>○令和3年11月10日 常任委員会 ・特別支援学校設置基準について</p> <p>○令和4年3月8日 常任委員会 ・滋賀のめざす特別支援教育ビジョン（実施プラン）の進捗状況について</p>	副次的な学籍制度について	<p>・該当する子供にとっては環境が変わるなど、いろいろなことがあり、非常に刺激もあっていい取組ではないか。</p> <p>・制度を実施するには、マンパワーが必要である。しっかりと国から財政支援をしていただけるよう、滋賀県の動きをお伝えする中で働きかけをされたい。</p>	
	特別支援学校設置基準について	<p>・十分な基準を満たしたグラウンドがあっても、そこが駐車場になっているという現状や、土砂災害の危険指定地域になっている学校もあるので、基準に照らし合わせるだけではなく、実態をしっかりと見ていただきたい。</p>		